

日曜市で学んだこと

人文学部 田中睦樹さん（平成 25 年 3 月卒業）



※左端が田中さん

★「日曜市を元気にする」から「日曜市で元気になる」へ

毎週日曜日になると高知の城下、追手筋に現れる日曜市。この日曜市がサンデー・マーケット・サポーターズ（以下、SMS）の活動場所です。一年生の後期に、地域協働企画立案という授業を受講したことがSMSを始めのきっかけです。「日曜市を学生の力で元気にする」という漠然とした目的のもと、私を含め6人のメンバーが集まりました。

「日曜市を学生の力で元気にする」という目的はとてもシンプルで分かりやすいものですが、実際のところ私たちは「何をしたらいいのかわからない」「日曜市をあまり知らない」「そもそも活性化って何？」と言ったように、自分たちの活動の土台となるものがなかなか見つからずに、ダラダラと日曜市で過ごすという日が何回かありました。

そんな時、SMSがお世話になっている高知市街路市係の方が出店者さんに話をし、私たち学生が店の手伝いをできるようにと取り計らってください、それ以来私たちは毎週グループに分かれて数件のお店に入り手伝い（修行）をするようになりました。

お店に入って手伝いをしてみると、これまで知らなかった日曜市がたくさん見えてきます。また、私たちのことを気にかけてくださる出店者さんが増えました。そして、お店に入って手伝いをするという「体験」を通して、SMSメンバー6人の中には「日曜市が好き」という共通の思いが生まれました。

私たちが好きな日曜市、出店者さんが好きな日曜市、お客さんが好きな日曜市を、「観光に来た人にも好きになってまた来てもらいたい」、「日曜市に来たことのない高知の人たちにも来てもらいたい」という風に考えるようになりました。今振り返ってみると、SMSとしての本当の活動はここから始まったのではないかと思います。毎週、日曜市が終わった後の振り返りミーティングに加えて、時間を見つけて

ミーティングを行い、SMSは日曜市でどんなことができるのか、どんなことをしたら日曜市を好きになってもらえるのかを考えるようになりました。

★SMSで学んだ「自分で考えて行動する」こと

このような試行錯誤を繰り返しながら、SMSの活動が始まって約3年半が経ちました。現在、SMSが毎週日曜日に日曜市で行っている主な活動としては、休憩所・観光案内所の運営、SMS新聞というフリーペーパーを作成し月末に配布、出店者さんのお店の手伝いなどです。また、これまでにイベント的に行った活動としては、日曜市の食材を使用したお弁当を作り販売したり、出店者さんのお宅に伺い農業をお手伝いしたり、日曜市のシンポジウムの開催があります。

SMSの活動を始めて間もなかった3年前の年末には、出店者さん全員に「感謝カード」を手作りで配りました。その時に、今年いっぱい出店を辞めると言っていた方が涙ながらに喜んで下さったことは今でもすごく記憶に残っています。日曜市を元気にすることは難しくても、日曜市を支えている出店者さんを元気にすることは私たちにでもできることなんだと感じた出来事でした。

社会人との関わりや、PDCAサイクルをしっかりと回すこと、組織の中での自分を見つめること…。成功したことばかりではありませんでしたが、だからこそSMSの活動から得たこと、学んだことは本当にたくさんあります。

春から社会人となり、新しい組織に所属することになります。また、これまで以上に自分で考え行動しなければならない場面や多くの人と接する機会も増えると思うので、SMSでの活動をはじめとする学生生活での経験を活かして、ますます成長していきたいと思っています。